おらがまちの自慢の場所

あきる野百景

あきる野市

1 高岩山 養沢地区

2 小滝 養沢地区

3 大岳鍾乳洞 養沢1587

4 大岳沢 養沢地区

5 養沢神社のトチノキ 養沢1018

6 三ツ合鍾乳洞 養沢1075

7 高明山・馬頭刈山周辺 乙津地区

8 養沢川 養沢地区

9 天王岩 養沢地区

10 軍道紙の里 乙津地区（軍道ほか）

11 五社神社 養沢1392

12 徳雲院周辺 乙津511

13 加茂原 乙津地区

14 青木平橋周辺 乙津地区

15 乙津 花の里 乙津地区

16 秋川渓谷瀬音の湯 乙津565

17 石舟橋周辺 乙津地区

18 城山 戸倉地区

19 光厳寺 戸倉328

20 沢戸橋周辺 小中野、戸倉地区

21 子生神社 小中野187

22 深沢家屋敷跡 深沢7

23 南沢あじさい山 深沢地区

24 金比羅山 五日市、入野、戸倉地区

25 開光院 五日市691

26 五日市憲法草案碑 五日市409−2

27 ヨルイチ 五日市、小中野地区

28 阿伎留神社 五日市1081

29 小庄の桜 五日市地区

30 佳月橋周辺 小中野、小和田地区

31 広徳寺 小和田234

32 御嶽神社 小和田531

33 小和田橋周辺 小和田、五日市地区

34 都立小峰公園 留原284−1

35 小峰台公園（前山公園） 小峰台6−1

36 小机家住宅 三内地区

37 まいまい坂 三内地区

38 高尾神社参道からの眺望 高尾地区

39 高尾橋周辺 高尾、留原地区

40 秋川河原沿いにある伊奈石と矢穴跡 三内地区

秋川河原沿いにある伊奈石の層はかつて五日市湖を形成していたといわれている。河原にある岩には今も石を切り出したときの矢穴跡が残っている。

武蔵五日市駅から徒歩約14分

41 五輪坂 横沢地区

愛宕神社旧参道入口に立つ伊奈石で作られた五輪塔と五輪地蔵。五輪塔は大悲願寺二十四世如獅の延享絵図に描かれており、五輪坂の地名の由来である。

武蔵五日市駅から徒歩約20分

42 大悲願寺 横沢134

伊達政宗が宛てた書簡「白萩文書」が保存されている。無畏閣（むいかく）には色鮮やかな色彩の彫刻があり、毎年2月3日にはここで節分会が行われる。

武蔵増戸駅から徒歩約15分

43 伊奈石採掘遺跡 横沢地区

室町時代から江戸時代にかけて伊奈石を切り出していた石山池周辺では、矢穴石などの遺物を見ることができる。

横沢入里山保全地域内
武蔵増戸駅から徒歩約35分

44 横沢入 横沢地区

東京都里山保全地域。様々な貴重動植物が生息している。ボランティアを中心とした保全や復田などの活動が盛んに行われている。

武蔵増戸駅から徒歩約20分

45 正一位岩走神社 伊奈1575

平安朝の末、信濃国伊那郡の住人が当地に来て一村を開き、信濃国総鎮守戸隠神社の御祭神を勧請し今日に至る。寛政6年（1794年）光格天皇の御代に「正一位」の神階を勅許され、以後正一位岩走神社と称する。神社社家は、近代女流歌人三ヶ島葭子（みかじまよしこ）の生母の実家。

武蔵増戸駅から徒歩約20分

46 新秋川橋から見る花見山 高尾地区

橋から下流を眺めると、花見山を望むことができる。春は全山をつつむヤマザクラや新緑、秋は紅葉が見られる。

武蔵五日市駅から徒歩約20分
武蔵五日市駅から「福生駅（市役所経由）」、「京王八王子駅（秋川駅経由）」または「上川霊園」行バス「下館谷」下車徒歩約5分

47 明光寺のしだれ桜 伊奈1463

春には境内でしだれ桜とヤマザクラの共演が見られる。風になびくしだれ桜の枝ぶりは大きく、一斉に咲き誇る姿は圧巻。

武蔵増戸駅から徒歩約15分

48 松岩寺 伊奈376

地元の伊奈石を使った石積みがある。大きなドウダンツツジや白萩、ヒガンバナの群落なども見ることができる。

武蔵増戸駅から徒歩約10分

49 武蔵増戸駅 伊奈873−2

五日市線で昔の面影を残している駅舎。五日市線開通当時、私財を投じて植えられた安兵衛桜（やすべえざくら）が今も咲く。

※現在、駅舎は改修されています。

武蔵増戸駅下車

50 弁天山・花見山周辺 網代地区

春にはミツバツツジ（ムラサキツツジ）が咲き誇る。鳥居の傍には棚田が広がり、山頂手前にはチャート洞穴がある。小峰方面へ通じるハイキングコースがある。

武蔵増戸駅から弁天山鳥居まで徒歩約20分

51 網代橋周辺 網代地区

秋川渓谷の入口。砂利の河原の傍を澄んだ水が流れる。上流・下流ともに季節の移り変わりが静かに感じられる。

武蔵増戸駅から徒歩約12分

52 瑞雲寺 山田496

足利氏ゆかりの寺。寺の裏手から湧き出した湧水を利用して、文化・文政時代の水琴窟を復元。

武蔵増戸駅から徒歩約12分

53 山田大橋・山田堰周辺 山田地区

広々とした秋川の清流を目の当たりにできる。橋からは周辺の緑や景色を一望することができる。

武蔵増戸駅から徒歩約12分

54 天神社（山田の天神さま） 山田820

早春には鳥居に添うように三色の梅が咲く。種々の野鳥が羽を休め、餌をついばむ小さな杜の中に社がある。

武蔵増戸駅または武蔵引田駅から徒歩約15分

55 東京サマーランドあじさい園 上代継600

青山のように斜面を埋めるアナベルをはじめ、散策路には約60種のあじさいが咲き誇る。

秋川駅から「サマーランド」または「京王八王子駅」行バス「サマーランド」下車

56 秋川の六枚屏風岩 引田1774

かつて6つの土柱が形成され、それが六枚折り屏風に見立てられてその名がつく。崖では数百年以上前から土柱が成長・崩壊を繰り返したと推定される。

秋川駅から「サマーランド」または「京王八王子駅」行バス「サマーランド」下車

57 旧養蚕農家のおもかげ 渕上地区

江戸時代より誇る、養蚕農家日本一（繭生産量年間全国トップ9回）の面影の残る桑保管倉庫。他では見られない半地下式の倉庫で、周囲外壁も当時の面影が残る。

武蔵引田駅から徒歩約10分

58 出雲神社の桜 渕上310

市の保存樹木。枝ぶり、大きさともに立派な桜が境内を彩る。

武蔵引田駅から徒歩約13分

59 渕上の石積井戸 渕上330（閑戸センター内）

地表面から擂鉢状に掘り下げた窪地の底の井戸水を汲むための小道が周囲を旋回し、「まいまいず井戸」とも呼ばれている。

武蔵引田駅から徒歩約15分

60 真城寺 上代継344

しだれ桜は市の天然記念物。整備された境内では、四季折々の花を見ることができる。

秋川駅から徒歩約17分

61 メタセコイア並木 下代継地区

旧都立秋川高校のシンボル。新緑、黄葉、冬の佇まいなど季節ごとに変化する姿を楽しむことができる。

武蔵引田駅から徒歩約12分

62 秋川神明社 牛沼88

大杉は市の天然記念物。神社の御神木として大切に保護されている。真照寺の山王権現の御神体が何度か流出して神社の下の渕に流れ着いたため、ここに安置したという言い伝えがある。

秋川駅から徒歩約16分

63 雨武主神社 雨間1941

俗社号は「みょうじんさま」という。拝殿までは200段の急な石段が続き、周辺の杜には、この辺りでは珍しいツガが自生している。社殿には、中国の故事を再現している彫刻があり、後藤三次郎作といわれている。

JR青梅線拝島駅から「杏林大学」行バス「南雨間」下車徒歩約9分
秋川駅から徒歩約40分、または「京王八王子駅」行バス「秋留橋」下車徒歩約10分

64 東秋留橋・南郷周辺 雨間地区

昭和14年に築造された旧東秋留橋は、平成12年には土木学会の「日本近代土木遺産」に選定されている。周辺の田園風景は、秋川流域の原風景。

東秋留駅から徒歩約24分または秋川駅から徒歩約22分
JR青梅線拝島駅から「杏林大学」行バス「雨間」または「南雨間」下車

65 切欠のカタクリ 切欠地区

市の保存緑地指定地域。市民ボランティアによる保全活動が行われている。春には見事な群生を見ることができる。

東秋留駅から徒歩約30分
JR青梅線拝島駅から「杏林大学」行バス「南雨間」下車

66 地蔵院 雨間1101

都の天然記念物カゴノキ（ナンジャモンジャの木）、市の天然記念物カヤがある。境内の植物は四季を通して表情を変える。

東秋留駅から徒歩約15分

67 小川久保桜公園 小川地区

春は桜、夏はサイカチの木陰でひと休み。市民の憩いの場となっている。目の前には滝山丘陵が広がる。

東秋留駅から徒歩約20分

68 宝清寺 小川101

しだれ桜は市の保存樹木。寺の境内からは眼下に広がる田園風景を見渡すことができる。

東秋留駅から徒歩約15分

69 熊野神社 小川639

神社建築装飾として、見応えのある彫刻がある。境内では内側から失火したケヤキが今も懸命に生きている。

東秋留駅から徒歩約14分

70 八雲神社 野辺316

東京の名湧水57選。春には池を覆うように桜が咲き、花びらが水面を彩る。

東秋留駅から徒歩約6分

71 二宮神社 二宮2252

「二宮神社並びに城跡」として東京都指定旧跡になっている。1月の筒粥（つつがゆ）、足神さまにはじまり、節分の豆まきなどの行事が行われている。

東秋留駅から徒歩約3分

72 二宮神社のお池 二宮1189

東京の名湧水57選。常に豊かな水量を保っていることから「涸れない池」と呼ばれている。昔、雨乞いをした場所との言い伝えが残る。

東秋留駅から徒歩約5分

73 玉泉寺 二宮2265

真っ赤に染まるモミジは市の保存樹木。境内には、幹が空洞の柿の木が実をつける。

東秋留駅から徒歩約9分

74 松海道の欅 平沢地区

市の保存樹木。象の足のような特徴的な木肌をしている。天気のよい日には周辺から富士山を望むことができる。

東秋留駅から徒歩約10分

75 多西橋−平高橋の桜 草花、平沢地区

平井川の両岸、多西橋から平高橋まで桜のトンネルが続く。春は桜の香りに包まれながら散策することができる。

（多西橋）
東秋留駅から徒歩約15分
（平高橋）
東秋留駅から徒歩約16分

76 中高瀬耕地 草花、平沢地区

昔の水田の風景が残る場所。初夏は青々とした景色、秋は黄金色に染まる稲穂が広がる。対岸の崖線には豊富な湧水がある。

※現在一部に道路が建設されています。

東秋留駅から徒歩約20分

77 都立秋留台公園 二宮673−1

春は約130本の桜、ツツジ、サツキ類、バラなどが観賞でき、秋には秋バラ、11月中旬以降はケヤキ、イチョウ、メタセコイアなどの紅葉が見られる。

東秋留駅または秋川駅から徒歩約15分

78 草花公園周辺 草花、原小宮地区

春は平井川に沿って桜が咲く。小魚や鳥などが多数生息する。夏には水遊びをする子どもたちの姿が見られる市民の憩いの場。

JR青梅線福生駅から「武蔵五日市駅（平井経由）」、「五日市」、「日の出折返場」または「秋川駅」行バス「西草花」下車
秋川駅から「福生駅（瀬戸岡経由）」行バス「西草花」下車
秋川駅から徒歩約30分

79 小宮神社 草花2981

鎌倉時代に建立されたと伝えられている。奉納されている梵鐘は、国の重要美術品。9月23日の例大祭では三匹獅子舞が奉納される。

JR青梅線福生駅から「武蔵五日市駅（平井経由）」、「五日市」、「日の出折り返し場」または「秋川駅」行バス「西草花」または「門前」下車
秋川駅から「福生駅（瀬戸岡経由）」行バス「西草花」または「門前」下車

80 珠陽院 瀬戸岡511

早春は白梅、春には桜、ツツジ、ボタンなどが境内を彩る。明治時代には平井学校瀬戸岡分教場として使用されていた。

秋川駅から徒歩約20分

81 宝蔵寺・尾崎観音 菅生263

春は桜、ツツジ、フジ、初秋はヒガンバナが境内を彩る。安産や子授けの観音様として有名である。

秋川駅から徒歩約25分
JR青梅線福生駅から「武蔵五日市駅（平井経由）」行バス「尾崎観音」下車

82 菅生の組立舞台 菅生1336

都の有形民俗文化財。明治42年頃に造られたもので、定期的に組み立てられる。1本も釘を使わず組み立てる技。舞台師が伝統を守り続けている。

秋川駅から徒歩約40分
秋川駅から「菅生高校」行バス「菅生」下車

83 秋川歌舞伎 二宮地区

都の無形民俗文化財。演じる人のみならず、それを支える人、子どもから大人までがひとつとなり、農村歌舞伎としての伝統を受け継いでいる。

9月9日二宮神社 ほか
問合せ 090-5789-1723（保存会）

84 農村歌舞伎「菅生一座」 菅生地区

昭和10年に菅生に伝えられた農村歌舞伎（菅生歌舞伎）。現在も地元住民を中心に衣装やカツラなども手作りで伝統芸能を保存している。上演は「菅生の組立舞台」や「古民家」などで行われ、当時の原風景が再現されている。

正勝神社祭礼（9月下旬）ほか
問合せ 042-558-7516（座長）

85 二宮神社例大祭（しょうが祭） 二宮地区

祭礼には神饌として生姜、里芋、牛の舌餅などを奉納する風習があり、生姜を食べると風邪をひかないといわれている。神輿が石段を上がる姿は圧巻。

開催日 9月8日〜9日

86 正一位岩走神社祭礼 伊奈地区

渡御は昼に神社を出発し、先頭に先祓い鉾4本、12基の町内神輿の後に木遣り音頭に囃された獅子頭が2つ続き、太鼓車・神社神輿・山車2台・囃子車4台が続いて町内を一団となって巡行する。夕方、暗闇の中に宮入がなされ最高潮となる。

開催日 9月第3日曜日

87 阿伎留神社祭礼 五日市地区

六角神輿が五日市の町を練り歩く。神輿の担ぎだしの前には露払いとして獅子舞がつき、舞を演じるのが風習となっている。

開催日 9月28日〜30日

88 どんど焼き（さいの神） 秋川、平井川流域

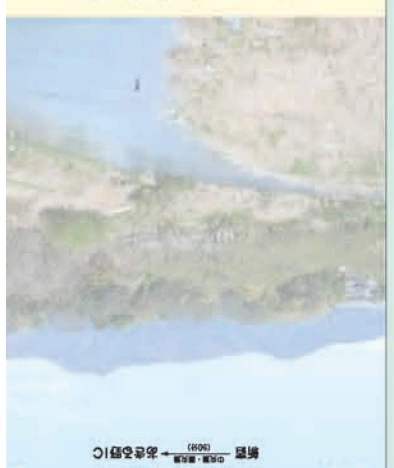
正月明けに秋川、平井川流域で行われる伝統行事。子どもから大人まで積極的に参加し、地域ごとに行われている。

景観・自然等　伝統文芸・工芸・祭事等
歴史的建造物・文化財等　動植物等希少種
※区分は推薦理由によるものです。

交通のご案内

電車の場合

車の場合



発行：あきる野市環境経済部環境課
〒197-0814 東京都あきる野市二宮350
TEL 042-558-1111
http://www.city.akiruno.tokyo.jp/
携帯サイト http://akiruno-town.info/

初版 平成22年3月
第2版 平成24年2月